

J SB-5 実例！サイエンスイラストの自力改良にチャレンジ！

○小林 麻己人, ○三輪 佳宏

筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻

【小林 麻己人 略歴】

1987年慶応義塾大学化学科卒。

生命科学に転じて、国立遺伝学研究所（総合研究大学院大学）で学位取得。日本学術振興会奨励研究員・自治医科大学助手を経て、1998年より現職。環境応答や個体発生における生命現象の謎を、ゼブラフィッシュを活用して研究中。2006年より芸術学系の田中佐代子先生とサイエンスイラストレーション演習を開始。2010年に日本サイエンスビジュアルリゼーション研究会を設立（幹事）。

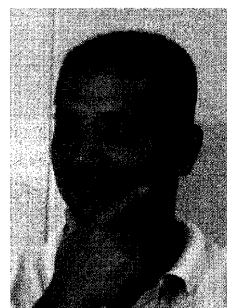


【三輪 佳宏 略歴】

1989年京都大学理学部卒。

1994年に大学院修了後、徳島大学歯学部助手、をへて1998年より現職。蛍光イメージング技術の開発と応用について研究中。2007年より田中佐代子先生・小林麻己人先生のサイエンスイラストレーション演習に合流。

2010年より日本サイエンスビジュアルリゼーション研究会Twitter担当（幹事）。



日本微生物生態学会員の有志が、講演者らのアドバイスをもとに、サイエンスイラストの自力改良にチャレンジ。その様子を、日本サイエンスビジュアルリゼーション研究会幹事の小林と三輪が座談会形式で紹介します。

チャレンジャーから事前に提出されたサイエンスイラスト（Beforeイラスト）にアドバイザーがコメントし、このアドバイスをもとにチャレンジャーが自力でイラストを改良しました（Afterイラスト）。ここでは、まずチャレンジャー自身が、意図や用途とともにBeforeイラストを説明します。次に、アドバイザーからのコメントとともに、Afterイラストも紹介し、改良したポイントを解説します。最後にアドバイザーから、この改良についてのコメントや批評、さらなる改善案を伺います。

果たして、Beforeイラストが素敵なAfterイラストに生まれ変わるのか？座長もドキドキの企画をぜひ一緒に楽しんで下さい。